

2005年12月20日



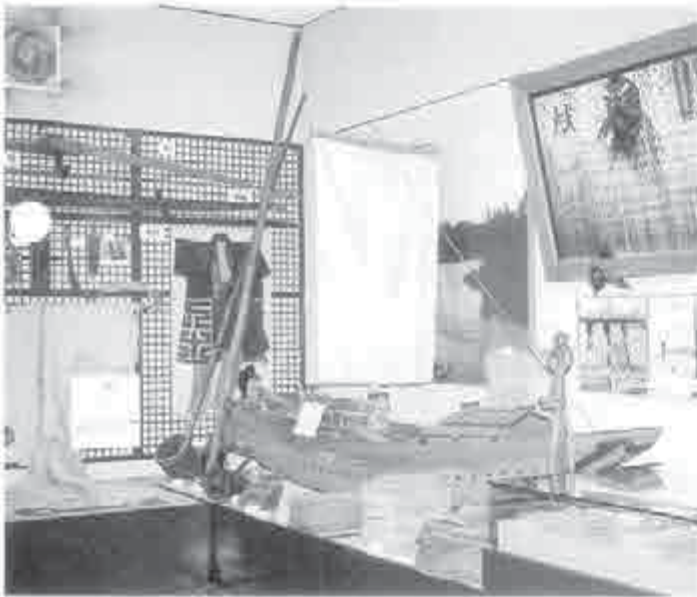
資料館通信 第58号

ふじみ野市立

上福岡歴史民俗資料館
大井郷土資料館

埼玉県ふじみ野市長宮1-2-11 TEL049-261-6065

埼玉県ふじみ野市大井中央2-19-5 TEL049-263-3111



上福岡歴史民俗資料館の常設展示室



大井郷土資料館の常設展示室

本年10月1日新たに「ふじみ野市」が誕生しました。これにあわせて旧上福岡市立歴史民俗資料館が「ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館」、旧大井町立郷土資料館が「ふじみ野市立大井郷土資料館」になり、市内の博物館相当施設は2館になりました。本資料館の「館報(資料館通信)」は、約30年間(館報の概史は本号5頁に掲載)上福岡歴史民俗資料館で刊行してきました。本号より、大井郷土資料館を加え「ふじみ野市立」の資料館2館共通の館報として発刊することになりました。館報名や通巻号はこれまでを踏襲します。上福岡と大井の資料館施設や事業等の概要を、改めて下記のとおり紹介します。

	上福岡歴史民俗資料館	大井郷土資料館
開館年	昭和58年(単独館)	昭和63年(大井図書館と併設)
常設展示室等面積	165㎡	142㎡
主な収蔵・ 展示資料	新河岸川舟運関係史料 旧陸軍造兵廠関係・古墳時代土器他多数	県指定「武蔵野台地北部の畑作用具」・ 川越街道関係史料・縄文土器他多数
特別展・企画展の 開催	特別展年1回、企画展随時 本年度は本号2頁の特別展及び8月開催 の「造兵廠と戦争遺跡」の企画展等	企画展年1回、巡回展・季節展 本年度の企画展は「大井戸と鉄」及び本 号3頁の三富巡回文化財展等
教育普及活動	講演会・歴史学習講座・子供文化財教室 等、資料館友の会活動への助言	講演会・郷土史発見講座・少年少女歴史 教室・古文書や水引講座等

「東上線の開通と上福岡駅－舟運の終末から鉄道へ－」

平成18年1月22日(日)まで開催



新河岸川舟運に変わる新しい輸送手段となった東上線の敷設、上福岡駅開設によって今日の本市の発展があります。本年は、東上線が全線開通（大正14年：1925）してから、80年という節目の年でもあり、東上線が開通するまでの人々の努力、東上線・上福岡駅とともに発展していく町の様子を、数多くの実物資料や写真パネルをとおして紹介しています。また、特別展にあわせて関連講座（4頁掲載）も開催します。

☆展示内容

第1会場（歴史民俗資料館展示室）

幻に終わった毛武鉄道・京越鉄道計画、大正3年開通の東上線・同時に開業した上福岡駅、駅前運送店と人力車、貨物・下肥おろし場と幻の造兵廠引込線、戦前・戦後の東上線と上福岡駅に関する資料・古写真、昭和30年代以降の駅員・車掌の制服・帽子、運行図表や東上線の切符・記念乗車券などをとおし、新河岸川舟運から東上線へのうつりかわりを紹介しています。

第2会場（歴史民俗資料館 2階展示ホール）

大正期及び昭和10年代頃の運送店、肥料店、カジヤ、駄菓子屋、青物市場などの展示、また、昭和20年代以降上福岡駅前にあった各ミセや町並みの発展を紹介しています。

第3会場（福岡河岸記念館 文庫蔵展示コーナー）

鉄道誘致に尽力した星野仙蔵の生家である福岡河岸の「福田屋」には、明治14年の日本鉄道建築願から大正・昭和初期の東上線や近隣の鉄道まで、多くの史料が残されていました。この鉄道史料の宝庫「福田屋文書」を展示公開しています。

- 会 場：市立上福岡歴史民俗資料館及び市立福岡河岸記念館（市内福岡3-4-2）
- 入館料：歴史民俗資料館は無料。福岡河岸記念館は有料。
- 休館日：毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）。ただし福岡河岸記念館は年末休館が12月27日からとなります。
- 問い合わせ先：上福岡歴史民俗資料館（電話261-6065）

「写真展 三富の石仏」

平成18年2月18日(土)～3月5日(日)まで開催

埼玉県西南部の所沢市(中富・下富)から三芳町(上富)に広がる県指定旧跡「三富開拓地割遺跡」は、今から約300年前の元禄年間に川越藩主柳沢吉保の命により開拓された計画的な新田です。この三富新田と近隣市(川越市・狭山市・ふじみ野市)を合わせた三富地域には、現在も整然とした美しい地割景観が残されています。しかし、三富地域は都心から30キロメートル圏内に位置するため、近年における都市化の波は急速であり、地割遺跡の保全が緊急の課題となっています。

前出の5市町と埼玉県の各教育委員会で構成する「三富巡回文化財展実行委員会」が4年前に結成されました。平成18年までの5ヶ年事業として、これまで ①東松友一氏撮影「三富・武蔵野を撮る」、②三富地域の児童生徒の絵画「三富の四季を描く」、③池原昭治作品展「三富の絵本」を実施してまいりました。

4年目の今回は「写真展 三富の石仏」を、平成17年1月5日の埼玉県庁をかわきりに、狭山市・三芳町・所沢市・ふじみ野市から最後の川越市の3月26日まで、約3ヶ月の巡回展を開催します。展示会は、小室登氏撮影による三富地域内の石仏25点の写真パネルとそれらの所在地図、さらに童絵作家池原昭治氏の絵も展示します。

主な展示品には、多聞院(中富)の狛虎やユーモラスな寒念仏、地域内で最古の寛永19(1642)年の木ノ宮地藏堂(上富)に所在する地藏菩薩で、古尾谷木目郷の人が寄進した石仏、旧大井地域から元禄2(1689)年の庚申塔や大井宿の木戸に立っていた地藏菩薩など25点があります。石仏の種類は、地藏菩薩7点、庚申塔6点、弁才天3点のほか、馬頭観音・観音菩薩・光明真言塔・道標・狛犬・狛虎・富士塚碑・石灯籠・寒念仏の各1点ずつです。



三富巡回展ポスター

- ◆会場：市立大井郷土資料館 1階郷土学習室
- ◆入館料：無料
- ◆休館日：2月20日(月)と27日(月)
- ◆開館時間：<平日>午前9時30分～午後6時、<土・日>午前9時30分～午後5時
- ◆問い合わせ先：大井郷土資料館(電話263-3111)

このほか大井郷土資料館では、上記写真展示会以外、季節展として1月5日(木)～1月22日(日)まで正月飾り、2月18日(土)～3月21日(火)まで雛人形飾りのコーナー展示を開催しています(月曜日休館)。

平成18年1月～3月 上福岡歴史民俗資料館(略称：上)と大井郷土資料館(略称：大)
の講座等の参加者募集中 【申込・問い合わせは、それぞれの資料館へ】

	日 時	内 容
大	1月14日(土)午後1時30分～	郷土の伝承遊び(対象 小学生)
上	1月15日(日)午後1時30分～	特別展開連講座「駅前運送店と町場の成り立ち」
大	1月21日(土)午後2時～	古文書講座①(旧大井の江戸期文書の基礎学習)
上	1月22日(日)午後1時30分～	特別展開連講座「東上線車両のうつりかわり」・特別展最終日
大	1月28日(土)午後2時～	古文書講座②(旧大井の江戸期文書の基礎学習)
大	2月4日(土)午後2時～	古文書講座③(江戸期文書の解説学習)
上	2月18日(土)午後1時30分～	上福岡歴史民俗資料館友の会「昭和初期の村の暮らし」講座
大	2月18日(土)午後2時～	古文書講座④(江戸期文書の解説学習)
大	2月25日(土)午後1時30分～	郷土の伝承遊び(対象 小学生)
上	2月26日(日)午後1時30分～	歴史学習講座「古代～中世の井戸—大井戸を中心に—」
上	3月5日(日)午後1時30分～	歴史学習講座「中世の板碑—県内の採石場を通じて—」
上	3月7日(火)～12日(日)	上福岡歴史民俗資料館友の会作品展示会
大	3月25日(土)午後1時30分～	郷土の伝承遊び(対象 小学生)

資料館日誌抄 (平成17年1月～9月まで上福岡のみ、10月～12月まで上福岡・大井の資料館)

- 1月6日 特別展開連講座「船頭のムラと折り」
1月30日 第19回特別展開連講座「川越藩御台場警備と御用船の運航」
2月13日 特別展開連講座「水害との闘いと川への折り」・特別展「新河岸川舟運の川船とその周辺」の最終日
3月6日 歴史学習講座「明治初期における新河岸川舟運の動向」
3月8日～3月13日 資料館友の会作品展示会
3月20日 歴史学習講座「近代における荒川舟運の衰退」
6月26日 歴史学習講座「江戸時代の旅と信仰」
7月10日 歴史学習講座「慶応2年の川越藩国替え」
7月27日 夏休み子ども文化財教室(折り紙)
8月6日～9月4日 企画展「造兵廠と戦争遺跡」
8月6日 歴史学習講座「造兵廠と県内の陸軍施設」
8月21日 歴史学習講座「造兵廠の学徒動員を語る」
8月28日 歴史学習講座「小学校駐屯の本土防衛部隊」
9月10日午前 歴史学習講座「近世・近代の新河岸川舟運の川船」
9月10日午後 歴史学習講座「新河岸川舟運の船部材から見た作法(造り)」
9月30日～10月6日 上福岡市教育研究会主催「小中学校の社会科展」

- 10月1日 上福岡市と大井町が合併し、ふじみ野市になる。合併後、大井郷土資料館にあわせて上福岡歴史民俗資料館は祝日開館となる。
10月16日まで 大：昔のくらし展・小学校4年生社会科体験学習
11月1日～1月22日 上：第20回特別展「東上線の開通と上福岡駅」
11月1日～12月4日 大：企画展「大井戸と鉄」
11月1日 上：市立福岡小学校児童の特別展見学
11月2日 上：川越市仙波小学校児童の特別展見学
11月12日 上：特別展開連講座「東上線の功労者星野仙蔵の生家を訪ねる」
11月13日 大：企画展記念講演会「武蔵野台地の古井戸」
11月20日 大：郷土史発見講座「大井戸と鉄」
11月23日 大：郷土史発見講座「鉄を作ろう」・少年少女歴史教室の縄文土器焼成
11月25日 上：特別展をNHKテレビで放送
11月27日 上：特別展記念講演会「埼玉の鉄道と東上線」
11月29日 上：市立さぎの森小学校児童の特別展見学
12月1・6日 上：市立福岡中学校生徒の特別展見学
12月3日 上：特別展開連講座「東上線の幻の引込み線・鉄道記念碑の探訪と講話」
12月3日 大：郷土の伝承遊び
12月10日・11日 大：初歩の水引細工講習会
12月10日～18日 大：少年少女教室縄文土器作品展
12月11日 上：特別展開連講座「東上線誘致と船問屋」

旧上福岡市立歴史民俗資料館の『資料館通信』の概史

【1976(昭和51)年12月の創刊号～2005(平成17年)1月の第57号】

旧上福岡市立歴史民俗資料館単独「館報」の発刊の歴史は、前号の第57号で幕を閉じ、本号(第58号)から大井郷土資料館との2館共通の広報誌になり、今後は新たな飛躍をめざします。

これまでの「資料館通信」は、今日までの29年間で通巻57号を刊行し、その概史を以下に記します。

この「資料館通信」の編集方針は、①郷土史や歴史については、市民にわかりやすくする。②毎号に、市民から提供される寄贈資料の紹介をする。③資料館の動向が市民にわかるよう随時「資料館日誌抄」を入れる。④市民との連携を深め魅力のある資料館をめざすため、資料館友の会をはじめとする利用団体・サークルの活動を随時紹介する。という内容をふまえて発行してきました。その概略は次の通りです。



歴史民俗資料館の建設がはじまる!!

昭和51年刊「第4号」



資料館「友の会」が設立される

昭和61年刊「第11号」

- ・昭和51年～57年度第1号～第4号B5判。資料館準備室としての展示資料調査や建設・館内配置図。
- ・昭和58年度、11月3日開館し第5号の表紙で「郷土を見つめ 郷土を育む歴史民俗資料館 開館その後一期待どおりの運営に一」と展示のあらましや来館者の声を掲載する。
- ・昭和59年～同61年度、第6号～10号刊。第1回以降の特別展や縄文土器、古文書、拓本講座を開催。既存の資料館利用団体と資料館事業から生まれたサークルが中心になって昭和61年4月から資料館友の会設立準備会を開催する。そして7月友の会が結成され今日まで続き、本年で発足20周年になる。同年から「資料館通信」を年3回発行した。
- ・昭和62年度～同63年度、第11号～第19号刊。昭和63年3月船問屋福田屋文書や民具の寄贈に合わせて第5回特別展「福田屋と星野仙蔵」を開催する。郷土史家の故井田実氏所蔵資料を受け入れ「井田文庫」として目録を刊行したことを掲載。
- ・平成元年度～同4年度、第20号～第30号刊。第7回特別展「埼玉の土偶」、第8回特別展「新河岸川舟運の福岡・古市場河岸」、第9回「ほうきの文化」の開催記事。第30号のみ12頁で「ほうきのふるさと上福岡をめざして」の特集号を掲載。
- ・平成5年～同11年度、第31号～第50号刊。平成5年開館10周年事業として第10回特別展「舟運の船頭と船大工」や資料館まつりを開催。平成7年戦後50年記念特別展「激動の昭和史in上福岡」や古写真巡回展を開催。平成10年以降、市内の小中学生対象の企画展「むかしのくらし」を開催などを掲載。
- ・平成12年度～同16年度、第51号～第57号刊。51号からA4判、年2回の発行のち年1回になる。第17回特別展「無線の村から団地の町へ」開催。平成16年1月小正月のまゆ玉作りを再現し館内に展示。第19回特別展「新河岸川の川船」や企画展「造兵廠の歴史」開催。

■上福岡歴史民俗資料館への資料の寄贈■

平成16年12月より平成17年11月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきましたので、紙上をもって厚くお礼申し上げます。

12月22日 陶製手榴弾(チビ弾)・滑車

川越市木野目 昼間政一氏

1月19日 軍隊の防寒具・ゲートル・古銭

市内福岡 原田純良氏

1月21日 船問屋吉野屋文書(市指定文化財)、舟運や江戸期の寛延年間の福岡河岸場図など200点を含む明治・大正期の古文書類456点と明治期の書家吉野龍興書31点、合計487点。

新座市東北 吉野興一氏

2月14日 町制施行3周年手拭他

市内上野台 伊藤杜吉氏

3月8日 昭和23年の書類

市内築地 富田竹雄氏

5月20日 武蔵部隊軍服類(上衣・ズボン・下着・襦袢・マント・野戦背負い袋・雑のう・図のう・軍馬用水のう・発電機用属品袋・防虫網・防蚊手袋・防毒面収納袋・帯革・軍用行李・弾薬箱)、大日本国防婦人会タスキ・戦時の標語紙札・落下傘・警防団鉄カブト・警防団用瓦斯マスク・消防半天・頭巾・帽子・文机・理容器具・双六紙

川越市下新河岸 齊藤正美氏

7月5日 板碑片 4点

市内中丸 近藤末広氏

7月9日、9月9日 戦時中の刻み煙草の手巻用巻紙(戦時中の配給品)・鉢形航空廠の爆弾入れ木箱

小川町竹沢 落合一男氏

7月15日、8月11日、8月24日 造兵廠用の九八式柄付手榴弾の弾薬箱(20ヶ入り)・照明弾用落下傘5点・昭和31年福岡江川流域土地改良区計画予定平面図

川越市董沼 神藤長三郎氏

8月6日 昭和18年海軍二等兵教科書

富士見市鶴馬 尾崎村蔵氏

8月18日 レコード(昭和20年代)

市内中福岡 鈴木忠男氏

8月18日 造兵廠関係資料と従業員・勤員学徒等の写真4点

市内長宮 宮寺 美氏

8月20日 昭和17年造兵廠関係陸軍技術本部印刷図面2点

市内中央 水野 卓氏

9月22日 造兵廠従業員の戦陣訓

三芳町藤久保 田中多津子氏

11月2日 明治期頃の鏝節削り器

市内長宮 洞口薫氏



本土防衛の武蔵部隊の軍服類<昭和20年6月>
(齊藤正美氏寄贈)

【平成17年8月6日～9月4日の企画展「造兵廠と戦争遺跡」の小学校に駐屯した本土防衛部隊コーナー】